



「障害がある人もない人も一緒に働ける居場所を創る」ことを目指して、6次産業化をベースとした農福連携に取り組む。

基本情報

- 所在地：愛知県犬山市
- 団体名：株式会社ココトモファーム
- 選定表彰：愛知のふるさと食品コンテスト優秀賞（令和3年度）
第4回あいちサービス大賞特別賞（令和3年度）
- 主力商品：米粉のバウムクーヘン



自家製米粉のグルテンフリーバウムクーヘン

取組の概要

- 農業部門は、農地中間管理事業を活用して引き受けた農地6haと、遊休農地を復元した0.4haを含む、8.3haで水稻を栽培（令和3年度、約30tを生産）。
- 製造部門では、市内3ヶ所の工房で製粉した米粉を原料に100%グルテンフリーの米粉バウムクーヘン等の加工品を製造。
- 販売部門は、愛知県内計10店舗で米粉バウムクーヘン等の自社開発スイーツを販売。
- 米の生産から加工品の製造・販売まで自社で一貫して行うことにより、障害者一人一人の特性に合わせて農業、製造、販売それぞれの部門で働ける場を提供。



愛知県内に10店舗ある直営販売所



農福連携での稲刈り

体制図

株式会社ココトモファーム

農業部門

製造部門

販売部門

就労移行支援
ココトモカレッジ

就職訓練

連携

J A 西三河

株式会社名古屋鉄道

犬山市シルバー
人材センター

取組の成果

- 令和2年11月から販売した米粉バウムクーヘンが好調となり、売上げは3,280万円（令和2年）から2億3,097万円（令和3年）と1億9,818万円も増加。
- 米の生産、加工品の製造、販売までを一貫して行うことで、障害者の雇用の場を創出。障害者の賃金は35万円/年（令和元年）から132万円/年（令和3年）と97万円/年も増加。
- 障害者が販売にも携わることで消費者と交流する機会が増え、経済面だけでなく精神面の充実、やりがいの向上にもつながっている。

所在地 ▶ 愛知県犬山市橋爪石畑60番地2

連絡先 ▶ TEL:0568-54-4717 E-mail:soumu@cocotomo-farm.jp

ウェブサイト ▶ <https://www.cocotomo-farm.jp/>

【取組のプロセス】

平成31年3月

きっかけ

障害者の社会での居場所づくりを模索していたところ、農林水産省が主催する農福連携推進フォーラムに参加したことをきっかけに、農業と福祉の連携に取り組み始める。

2 haの農地で水稻栽培を開始

令和元年9月

令和元年9月
「株式会社ココトモファーム」を設立、法人化

株式会社ココトモファームの設立（法人化）

- 令和元年9月に法人化し株式会社ココトモファームを設立。
- 経営理念に「ココでトモだちになろう」を掲げ、「障害がある人もない人も一緒に働ける居場所を創る」ことを目指して、6次産業化をベースとした農福連携に取り組む。
- 農地中間管理機構を活用して農業を辞めた担い手農家の農地（6 ha）と、遊休農地（0.4 ha）を追加した、合計8.4haの農地で水稻栽培を行う。



農福連携での種まき作業

令和2年

令和2年11月
加工商品「米粉バウムクーヘン」の製造・販売を開始

加工商品（米粉バウムクーヘン等）の開発・販売

- 令和2年11月から、自社製粉100%によるグルテンフリーバウムクーヘン製造・販売を開始。
- 米の生産からバウムクーヘンの製造・販売まで自社で一貫して実施するなど、6次産業化をベースにした農福連携に取り組む。多くの消費者と関わりを持つ商品ができたことで、障害者は消費者と交流する機会が増え、経済面だけでなく精神面の充実、やりがいを感じられる職場環境を構築。
- 直営店を含む愛知県内10店舗とインターネットでの販売により、売上げは約3,200万円（令和2年）から約2.3億円（令和3年）に急増。
- JA西三河と連携して地域農産物を使ったメニューを提供するほか、名古屋鉄道と連携して犬山市桃太郎神社で「桃太郎マルシェ」を共催。
- 障害がある人もない人も同じ賃金で雇用して所得向上を実現。障害者等一人当たりの賃金は、35万円/年（令和元年）から132万円/年（令和3年）に増加。



バウムクーヘンの製造

今後の展望

商品販売と障害福祉を組み合わせたモデルの全国展開

- 障害福祉施設と連携し、米粉のバウムクーヘンと障害福祉を組み合わせたモデルを全国に展開。
- 社会参加意識の向上と賃金や工賃の上昇、及び障害福祉施設の経営の安定化を図る。



桃太郎マルシェでの販売